



西原地区親睦会

会長 溝越正廣

みぞこし まさひろ

西原地区で、グラウンドゴルフ大会や輪投げ大会などのコミュニケーションの場づくりを企画している。

昨年から行っている「西原かかしの郷」は、今年度73体が増えた。かかしを話題にすることで地区民同士の会話の機会のきっかけにもなっている。

人?かかし?本物そっくりのかかしに思わず声をかけた人も!



新春特別座談会

いきいきした地域づくりから、明るく元気な尾花沢へ!

少子高齢化による地域の過疎化が進む中、地域に住む人々のつながりや、日々やりがいを感じて元気に過ごし、ここに住んでいてよかったと思える取り組みを住民自ら行うことが求められています。

そんな中、自ら企画・運営を行い、楽しみながらいきいきと活動している地域団体の皆さんから、元気な地域づくりについて紹介していただきました。

※新型コロナウイルス感染症対策をとった上で、収録を行いました。

(令和2年11月28日 レストラン徳良湖にて)

域への理解を深めることを基本にしています。  
**(五十嵐)**「清流と山菜の里はその村」会長の五十嵐です。かつて集落の若者に「あと何十年後には細野集落が消滅する」と言われたことをきっかけに、平成22年に設立しました。細野集落の住民全員が会員です。皆で力を合わせて次世代まで集落を継承していくこと、地域資源を活用した活動をしています。  
**(市長)**市長の菅根光雄です。各地域のみなさんが地域づくりの先頭に立っていただいていることに感謝します。今日は皆さんの活動が聞けることを楽しみにしています。

地域での活動内容とコロナ禍での苦労点は?

**(菅野)**新型コロナウイルスの影響でイベントの制限などもあったと思いますが、今年の活動内容や、苦労したことなどをお聞きかせください。  
**(溝越)**かかし作りをやっている中で、地区民全員から関心を持ってもらうため、看板を作

たり、チラシを何回も出したりしました。制作期限を設けず、設置する場所も自宅前や田んぼ畑など自由。かかしの材料も家にあるもので工夫して作ってもらいました。作って終わりではなく、制作したお宅に足を運んで話をすることで、徐々に地区内で話題が広がり、地区民同士の会話も増えました。  
昨年は大雨災害で秋の感謝祭が中止になって悔しい思いをしました。今年は新型コロナウイルスのため、地区民皆での感謝祭とまではいきませんが、73体全部の写真を公民館に飾ってそれぞれに賞を贈り、地区内のかかしのうち53体を公民館隣に集結させたところ、大好評でした。  
**(大貫)**自分たちが若いときは、何かやるうとすると先輩方から「そんなことはダメだ」などと言われて意見が通らず苦しみました。それを反省点として若い人たちがやることを否定しないようにしようというルールを作り、どうすれば実現できるかをみんな考えて、やれる方法を見つけてよくなりました。若



中刈村づくり実行委員会

会長 大貫喜彦

おおぬき よしひこ

平成28年に組織された「中刈村づくり実行委員会」の会長。集落内の棚田を中心とした村づくりをし、夏は棚田のライトアップ、秋は棚田でのグラウンドゴルフ大会や収穫祭、冬は道路の雪壁を利用したキャンドルロード(雪まつり)など、地区民手づくりのイベントを企画。



地区民のアイデアで生まれた「全日本中刈棚田のグラウンドゴルフ大会」。

**(菅野)**本日コーディネーターを務めます、菅野美和子と申します。以前、地域密着情報誌「きたにゃ」の編集をしていました。現在は山形の地域文化などの発信や企業アドバイザーの活動を行っています。  
では、皆さんからも自己紹介をお願いします。  
**(溝越)**「西原地区親睦会」会長の溝越です。西原地区は現在79世帯。昨年からかかし作りで地域を元気にしようという取り組みがあります。  
**(大貫)**「中刈村づくり実行委員会」会長の大貫です。平成28年から若い人とのギャップをなくし、お母さんたちの意見も取り入れようと組織し、収穫祭や雪まつりなどを企画・開催しています。また、お母さんたちが冬場公民館に集まって作った小物などを、山形の物産会館で地元野菜と一緒に販売もしています。  
**(高橋)**「二ツ森ゆう大学」学長の高橋です。玉野地区の小中学生を対象に校外活動をし、住民と一体となった交流を通して地